

SOMPOグループとの 新たなサービスの開発等に関する協業について

2021年8月24日
関西電力株式会社

当社は、本日、SOMPOグループの損害保険ジャパン株式会社（以下、損保ジャパン）およびSOMPOリスクマネジメント株式会社（以下、SOMPOリスク）と、ゼロカーボン社会の実現に向けた新たな保険サービスの開発等を目指し、協業に取り組むことに合意しました。こうした取組みで損害保険会社と電力会社が協業することは全国初です。

2050年におけるゼロカーボン社会の実現に向け、バーチャルパワープラント※¹（以下、VPP）事業等、新たな取組みの実現に向けた実証等が進んでいますが、一方で、新たな取組みには、様々なリスクが顕在化しています。例えば、VPP事業においては、活用する分散型エネルギーリソースの拡大や運用が多様化する中で、発電量等の予測の相違といったリスク等が懸念されています。

今後、ゼロカーボン化を進めるためには、エネルギーや環境価値のサプライサイドとデマンドサイド、双方の事業者が安心して事業運営できる環境を整備していくことが課題となります。

3社は、ゼロカーボン社会の実現に向けて、新たな取組みに対応した保険サービスやソリューションサービスの開発等に関して協業していきます。

具体的には、3社のノウハウやデータ等を活用して、ゼロカーボン社会に向けた市場環境整備のため、想定リスクをヘッジする保険サービスの開発に取り組んでいきます。ソリューションサービスについては、当社のゼロカーボンコンサルティング※²や、SOMPOリスクのESGコンサルティングメニュー等を組み合わせたサービスの提案に取り組んでいくものです。

当社は、協業を通じ、お客さまに対して様々なソリューションを提供することで、2050年のゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※1：お客さまの持つ小規模な再生可能エネルギー発電設備や蓄電池、電気自動車といった分散型エネルギー資源を、高度なネットワークシステムを活用して遠隔で制御し、あたかも1つの発電所のように機能させる取組み。仮想発電所とも呼ばれる。

※2：お客さまのゼロカーボンへの検討・取組み状況に応じて、海外の再生可能エネルギーによる電力の環境価値を国際環境証書として調達・提供するサービスや、太陽光発電オンサイトサービス等の具体的なソリューション提案のほか、ゼロカーボンに係る目標設定から情報開示までをまとめてサポートする活動。

以上